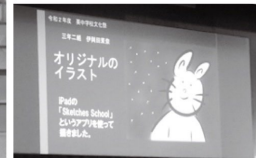


文化部 生徒会役員、生徒会ステージ、ボランティアで 参加してくれた生徒のみなさん



皆の力があって素敵な文化祭になりました。
Team 葵はずばらしい



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)
12・1・2月号

ティースプーン

一さじの幸せ

校長 荻須 文裕

ガラスの小瓶を手ひらに載せ、包み込むように握る。そうして、小さなティースプーンで、中に詰まった肉みそを一さじすくい取り、ごはんに載せる。私の冬休みの楽しみでした。この小瓶は、九月から生徒会役員たちが知恵を絞って進めてくれた、被災地支援バザーで購入した一品です。

今年のバザーでは、これまで支援を続けてきた宮城県に加え、長野県、岐阜県、熊本県を対象にしました。そして、この四県の物産品を十一品取り寄せ、販売することを計画してくれました。感染予防のため、学区の方の購入はホームページで受け付け、また、品物を渡す際は、ドライブスルー方式で行ったことも今年の工夫点です。

多くの方に趣旨をご理解いただき、十一月末の販売時には、約十五万円の収益を上げることができました。収益は各県の関係機関に送り、復興に役立ててもらいます。ご協力をいただいたご家庭、小学校、地域の方々に深く感謝いたします。

また、生徒会の活動は、バザーによる収益を上げるだけでなく、災害の状況を知ること目的としていました。十月から十一月にかけて、昇降口

には、生徒たちが調べた四県の災害の状況が写真とともに掲示してありました。災害で親しい人を亡くされた方や、家屋などに大きな被害を受けて生活が一変してしまっただけの方のことを思うと胸が痛みました。

一方、この活動を通して、協力してくださった、お店の方からうれしいお手紙などもいただきました。さらに、ホームページのブログに、この活動について書いてくださった店長さんもうらっしゃいました。その一部を紹介します。

「無事、成功されたとお礼のお手紙を生徒さんが送ってくださいました。その心遣いが嬉しくて、ほっこりとした気持ちになりました。観光業界は以前にもまして厳しい局面を迎えています。そんな時だからこそ、よけいに気持ちがあたたかくなったのかもしれない。」

世の中、悪いことばかりではありません。通り過ぎれば、そこから生まれた幸せもあるはず。私に楽しみを分けてくれた肉みそ。最後は、隅に残った一片までも、ティースプーンでくるとすくすく取りました。



三学期の抱負



仲間との時間

三年一組
僕が三学期に力を入れたいことは二つあります。

一つは、勉強です。僕たち三年生は入試を目前に控えています。一人一人が自分の行きたい高校に合格するため最後まで気を抜かず、自信をもって入試に挑めるようにしたいです。そのため、みんなで声をかけ合い、勉強をみんなで頑張る雰囲気をつくれたらと思います。

二つ目はクラスメイトとの関わりです。行事などが縮小となり残念な反面、仲間と協力し合って今まで以上に記憶に残るものになったと思います。そんな仲間と過ごすことができるのもあとわずかか二月しかありません。勉強を優先することはもちろんなのですが、そういった中で学級の時間をより濃いのにし、仲間との時間を大切にしたいです。

あと二か月で僕たちは卒業し、別々の道を歩きます。そのときに、三年生全員が自信をもって一歩を踏み出すことができるように三学期を充実したものにしていきたいと思います。

自律心

二年二組

私たち二年生にとってこの三学期は、三年生になる準備期間であり、成長できる

大きな学期になります。「自律」。自分で考えて、判断して、決定し、行動できること。これが私たちの最終目標になります。

二年生にとって最大のイベント、スキー研修では、この「自律」する姿に近づくことが目標です。私たちはまだ一分前着席、無言清掃でさえ完璧ではありません。だからこそ、互いに声をかけ合える力を身に付けていきたいです。

しかし、それだけでは私たちの理想の姿やスキー研修の目標には達しません。そのためにも、感謝の気持ちを忘れず、日々仲間のよいところを見つけて、お互いに努めれば、最高の三日間を作り上げることができると思います。

また、卒業を祝う会では、二年生が主体となって活動し、一人一人が活躍できる場がたくさんあります。その経験を通して自信をつけ、三年生への一歩が踏み出せるようにしたいです。

三年生が卒業すると、私たちが葵生の顔になり、学校を引っ張っていく存在になります。多くの人に信頼される、そんな三年生になりたいです。

三学期の抱負

一年四組

一、二学期を振り返ってみると、先生や仲間と過ごした日常や、みんなで作り上げた行事に充実感を感じました。それと同時に、クラスの仲間、先生と一緒に過ごす最後の学期に寂しさを感じます。三学期は、後悔がないよう、思ったことはすぐに行動に移していこうと、やる気にあふれた気持ちで今日を迎えました。

今学期、僕には頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、学習です。すぐにある同学はもちろん頑張りたいと思っていますが、少し苦手意識をもっている教科の克服をしたいと思います。そして、一つでも面白さを見つけて、次の学年に進みたいです。

二つ目は、生活です。落ち着いた生活には、きれいな環境が必要だと思います。家や学校の清掃、物の整頓を重点的に頑張りたいです。

三つ目は、部活動です。コロナ禍での、限られた時間の中で、いかにチー



△ 校内放送による3学期始業式

ムワークをよくするかを考え、実行し、チームの仲間から頼られる存在になりたいと思います。

僕は、この三つの目標の達成を目指して、努力していきたいと思っています。そして、学年代表としては、一年生

全員が明るく、元気に、個性を大切に過ごせるようになるようなと思っています。三学期は次の学年に向かっていく準備の時期でもあります。学年スローガン「突破」とおり、一人一人が自分の殻を突破し、自分の目標を達成できるように、みんなで頑張ります。仲間を思いやり、助け合い、励まし合い、毎日大切に心に残る最終学期にしましょう。

文化祭

「Team葵 磨け僕らの団結力」
 新型コロナウイルスの関係で縮小された文化祭。「Team葵」を合言葉に、生徒会役員やボランティアで参加してくれた生徒を中心に文化部発表や生徒会ステージを全力で盛り上げました。

令和二年十二月十五日(火)

団結、チーム葵

三年七組

今年の文化祭は新型コロナウイルスの影響で三年生しか体育館に入れませんでした。そこで、僕たち生徒会役員は、テレビの前で観ている一年生にも楽しめる企画ができないかを考え、タブレットを使った「意思疎通ゲーム」をしました。当日は、三年生だけでなく、全校生徒が僕たちの考えた質問に取り組んでくれました。答え合わせのときに、答えが画面上に映ると、みんながとても楽しそうに笑っていて、とてもうれしかったです。今年は、新型コロナウイルスの影響で、全校生徒がそろっての機会がありませんでしたが、僕たちの考えた生徒会企画で、みんなが笑顔になってくれてよかったです。全校生徒で、生徒会テーマのように「団結」できてよかったです。

「明るく・元気に・全力で」

みんなの笑い声

三年二組

僕は笑い声が好きです。みんなの笑い声が好きです。だから、人前に立って、みんなを笑わせようという決意をしました。

でも、心配も多くなりました。会場にいるのは三年生の友達で、知っている顔ばかり。だからこそ、笑いがとれず、場がしらけてしまったらどうしようかと心配になってしまいました。

迎えた本番。僕たちを温かい笑い声が包んでくれました。とてもうれしく、堂々と演じることができました。会場を盛り上げ、支えてくれた仲間感謝したいです。

成長できた文化祭

三年一組

今年は文化祭スタッフが募集されず、全ての仕事を生徒会が行うことになっていました。それを聞き、何かできることはないかと思い、三年生の前、後期級長に文化祭のボランティアをやらなにかと提案しました。急な私の提案にも、全員が力を貸してくれました。勉強に力を入れたときにもかかわらず、一緒に協力して文化祭を支えようと言ってくれた二十八人に感謝しているし、本当にうれしかったです。

例年とは違う文化祭。自分の考えたことを思い切って行動できた今回の文化祭は、私にとって大きな成長の場になりました。



被災地支援バザー

やりがいを感じた瞬間

三年四組

今回の被災地支援バザーでは、生徒会役員で被災地の特産品を調べ、実行委員が被災地の状況をまとめ、それを掲示しました。被災地のことについて知るよい機会になったと思います。

そして、私たちが選んだ商品がたくさん、多くの生徒や地域の方に購入していただきました。多くの人が協力してくれる姿を見たとき、うれしく思うとともに、やってよかったと感じました。

集まった支援金の使い道は、今、話合っています。被災地の学校や行政の方と連絡を取り、喜んでもらえる使い道を考えていきたいと思っています。



教育講演会

すこやか思春期教室を開催

もっと知ろう！生と性のこと

〜かけがえのない大切な命・育もう優しい心〜

令和三年二月三日(月)

岡崎市保健所より保健師さんをお招きし、命・性の尊さについて学びます。

表彰の記録

第七〇回社会を明るくする運動

作文コンクール 佳作

愛知県中学校(U-13)

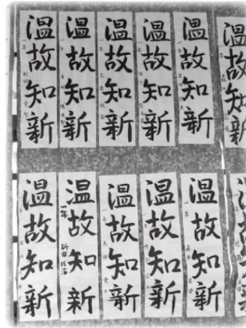
サッカー選手権大会岡崎大会

優勝 サッカー部

第七一回赤い羽根協賛

児童生徒作品コンクール

ボスターの部 銀賞



校内書き初め会 金賞受賞者

今後の予定



二月

二二日(金) 入学説明会

二五日(月) 一二年学年末テスト

一八日(木) ひまわりプロジェクト
一年サイエンス実践塾
(一〜一七日)

一九日(金) 出前授業

二二日(月) 後期総会

二五日(木) 卒業祝う会
(すこやか思春期教室)

三月

二二日(月) 同窓会入会式(三年)

二五日(木) 第74回卒業証書授与式

二二日(月) 公立A日程学力検査

二五日(木) 公立A日程面接検査

二二日(月) 公立B日程学力検査

二五日(木) 公立B日程面接検査

二二日(月) 一二年保護者会(希望制)

二五日(木) 公立B日程面接検査

二二日(月) 全校集会

二五日(木) R三年度前期生徒会役員選挙

二二日(月) 公立高校合格発表

二五日(木) 大掃除

二二日(月) 給食終了

二五日(木) 修了式

二二日(月) R三年度前期生徒会役員任命式

二五日(木) 春休み(〜四月六日)

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵中新网の発行が不定期となります。ご了承くださいませようお願いいたします。

葵が丘



可能性は無限大

開発主任 古家茂枝子

「将来の夢は何ですか」と聞かれたときにあなたは堂々と答えられるだろうか。

最近、ある高校の説明会で三年生になる葵中卒業生のA君に会った。A君は、中学時代は声優になりたいと熱く語っていた。しかし、今は就職して、まず自立できるように職業実習も頑張りながら、いずれば格闘家になりたいという新たな夢に向かつて格闘技を習い始めたという。決して器用ではないA君だが、中学時代から苦手なことにも全力で取り組み、夢を熱く語り、行動に移す彼を誇りに思っている。

最近読んだ本に、「良い生き方・働き方ができる人は、いい偶然を自分の力でつかめる」という一説があった。いい偶然をつかむには次の五つの行動が大事であるという。新しいものに飛び込むとする。「好奇心」(二)のことをやり遂げる「持続性」、他人の意見や新しい視点を受け入れる「柔軟性」、不安に負けずポジティブに捉える「樂觀性」。一歩踏み出す「冒険心」。

きっとA君はこの五つが自然にできているのだと感じる。今、夢がある人もない人も、好奇心をもつて様々なことに挑戦することを心掛けていれば、素敵な偶然が味方をしてくれるだろう。今の皆には無限の可能性が広がっている。失敗を恐れず自信をもつて行動し、自分の未来を切り拓いていってほしい。

葵中生に薦める

「心に残った一冊」

保護者の皆様から、葵中生にお勧めの本をたくさん紹介していただきました。ありがとうございました。ありがたうございました。ぜひ、新たな本との出会いを楽しみましょう。

○本の題名／著者名

○本の感想やお勧めの理由

○「読書する人だけがたどり着ける場所」

齋藤 孝

・本を読む意味とは何か。本を読むことで得られる体験とはどのようなものかを、改めて考えさせてくれました。

○「モモ」／ミヒヤエル・エンヂ

・日々時間に追われている現代の大人や子どもにとって「時間」とは何かを考えさせられる一冊。

・時間に追われて大切なことを忘れてしまった人々に時間を取り戻し、本当に大切なことを気付かせてくれる。

○「飛ぶ教室」／エーリヒ・ケストナー

・寮生活を送る少年たちの悩みや友情、そして彼らを見守る先生たちの物語。楽しく温かい気持ちになります。

○「ゲド戦記―影との戦い」

○アーシユラ・K・ルグウィン
・魔法が存在する「アラスシー」という世界を舞台にした古典ファンタジー小説の金字塔(一九六八年発表)。大学生のときに読んで心がとて揺さぶられたのと同時に、もっと若く多感な中高生のときに読みたかったと思った本。

○「アルジャーノンに花束を」

○ダニエル・キイス
・幸せとは何かと考えさせられる一冊です。物語が進んでいくにつれて変化し

ていく文字の様子にも注目です。

・初めは読みにくいかもしれないけれど、だんだん引き込まれていきます。人として何が大切か考えさせられます。最後まで読むと題名の意味が分かります。ぜひ読んでみてください。

・三十二歳、幼児の知能、パン屋のチャールリイ。そして、ねずみのアルジャーノン。彼と一匹は画期的な脳の手術を受け、超天才に成長していくが…。人は何かを得ることで何かを手放すのか？生きる上で何が大切かを教えてくれる感動の一冊です。

・幼児の知能しかない男が手術を受けて天才に変貌したが、そこから人生のいろいろなことが分かり、喜怒哀楽を経験して変わっていくさまに注目。

・深く考えさせられる本だと思います。捉え方は人それぞれ違うと思いますが、苦悩や葛藤の中に優しさを感じられる作品だと思います。たくさんの感情が入り混じる作品と感ずります。

○「風と共に去りぬ」

マーガレット・ミッチェル

・映画にもなったので、映画音楽とともに「老人と海」/ヘミングウェイ
・老大上海

・仕事に命を懸けて取り組む老人の姿が印象に残っている。形は違えど、必死に仕事に取り組む姿はすてきだと思います。

○「モンテ・クリスト伯」

アレクサンドル・デュマ

・無罪の罪で捕らえられたエドモン・ダンテスの復讐劇。面白いですよ！

○「肩と単は似合わない」阿部智恵

・最後のどんでん返しに驚き、もう一度読み返したくなる本。

○「窓ぎわのトットちゃん」黒柳徹子

・小学生向けでもあります、中学生でもお勧めできる。面白いです。

○「女生徒」太宰 治

・短編小説でも読みやすくて面白いです。私自身が中二の頃にこの本を読んだときのファンになりました。思春期の女子の気持ちがあまらしくなるような小説です。

○「西の魔女が死んだ」梨木香步

・中学生生活を心を痛めて苦しむ主人公、祖母は魔法を使うのかの苦しい優しき包み込みます。

○「ライオンのおやつ」小川 糸

・生きることは誰かの光になること。死の覚悟：本当の意味で受け入れる。心の声(内面)をリアルに表現した作品だと感じました。

○「いま、会いにゆきます」市川拓司

・本だけでなく、絵本を読んでいるような気分になります。心が洗われます。読み終わった後、じーんと考えさせられ、家族を大切にしたいと思います。

○「天国までの49日間」櫻井千姫

・周りのすべての人、命の大切さに気付くことができ、前向きになれる感動ストーリーです。

○「世紀末の詩」野島伸司

・一九八八年にテレビドラマで放送された作品です。一話完結で全十一話です。さまざまな切ない愛の物語。いろいろな愛の形があつてとても感動する作品です。

○「桜のような僕の恋人」宇山佳佑

・早く年を取ってしまう病気で、一日一日が今の自分であることが当たり前ではないことを考える、今の自分を大切にしようと思った。

○「舟を編む」三浦しをん

・辞書作りに情熱を込める人たちの物語です。デジタル化が進む現代において、紙の辞書がなぜ存在するのか？タイトル「舟を編む」の意味は、本を読むと理解できると思います。

○「青い鳥」重松 清

・一人の先生を軸に、その先生と関わった生徒たちのお話です。あなたは一人じゃないよ。」と伝えてくれるお話です。

○「ジャズバンド」奥田英朗

・主人公は東京・中野で暮らす、どこにももいる小学生。その破天荒な自由人の父親の生きざまは、どこかこれからの人生の支えになるかも。

○「あと少し、もう少し」瀬尾まこ

・中学最後の駅伝大会が舞台です。中学生の真つすぎ、青春が詰め込まれた一冊です。

○「さみの友だち」重松 清

・友達との関係に悩むことの多い中学生に、ぜひ読んでほしい一冊です。どの子もいろいろな思いや悩みを抱きながら生きているんだなと感じることができそうです。そして、友達について改めて考えることができる一冊になると思います。

○「本日は、お日柄もよく」原田マハ

・困難に向かい合った時、もうだめだと思った時、想像してみるといい。三時間後の君、涙がとまっている。二十四時間後の君、涙は乾いている。二日後の君、顔を上げています。三日後の君、歩き出しています。言葉の強さ、人のもつ力を感ぜさせられる一冊です。

○「桜のカルテ」夏川真介

・病院という、誰もが身近に必要な場所に、何かを感じる物語です。

○「小説DEESTINY 鎌倉ものがたり」

・自分の命を懸けてまで大切な人を取り戻そうとする気持ちは、読んでいて心に込められるものがあると思います。亜紀子というものがあっても生まれ変わるといえるものがあるならば、次もまた先生の奥さんになりたいと願っています。」という言葉が特に心に残りま

した。
○「ある晴れた夏の朝／小手鞠るい」
・自分の考えを発表することの難しさ、発言をせしめて責任をもつことの大切さを考えさせられる一冊です。

○「逆ソクラテス」／伊坂幸太郎
・先入観に対して、感情的にならずに立ち向かう大切さを知りました。

○「手紙」／東野圭吾
・犯罪加害者の家族に行く先で立ちほだかる壁、罪を犯すという事は自分だけでなく周りの人の生活も一変してしまう厳しい現実を感じ取ってほしい。

○「オルタナート」／加藤シゲアキ
・SNSが当たり前になっていく学生に読んでもらいたい作品。自分の境遇に悩みながら前に進もうとするところが良かった。

○「チースはどこへ消えた？」
／スベンサー・ジョンソン
・年齢に関係なく人生のあらゆる場面での学びの一冊です。続編の「迷路の外には何がある？」もとても深い内容です。

○「パソコン探偵の名推理」／内田康夫
・AIは人間を超えるか、という議論がされる今、二〇二〇年が遡ること三十年以上前の一九八四年、ネオ・スーパーパソコン「ゼニガタ」が名探偵として、人情味あふれる推理力で難事件を解決する。少しレトロな世界観が面白いです。

○「AI VS 教科書が読めない子どもたち」
／新井紀子
・AIは敵なのか、味方なのか。AIなしの生活は考えられなくなってきたが、「まだ人間ができること、人間しかできないことはある！」と考えさせられます。

○「7つの習慣」
／ステイブン・R・コヴィー
・ベタだが、子どもの頃から習慣づける

ことで、怠けず、真つ当な大人になるのでは、と思います。

○「個性を捨てる！型にはまれ！」
／三田紀房
・無理に個性や夢などをもつ必要がないことを知ってほしい。これから成長し、悩んでいく若い人に、世の中の仕組みや考え方に触れ、少しでも知ってほしい。

○「ぼくはイーエドでホワイで、ちやうどブルー」
／レイディみかこ
・炭次郎ばりの肯定感でモンスターなクラスメイトを救い、見た目(人種)、環境、貧富で相手を判断しない主人公の姿。思ふに日本と違った欧米の学校の雰囲気など、物語を通して作者の価値観を感じ、学びになる。

○「性別「モノリザ」の君へ」／吉村 旋
・LGBTQ+の問題や偏見について考えさせられる作品。性別が産まれた後に決まる世界で、性別をもたない主人公が変わっていくのも変わらないものを見ていく。今の社会だからこそ読んではほしいし、考えて悩んでみてほしい。

○「君たちはどう生きるか」／吉野源三郎
・漫画になっているので、本を読むのが苦手な子どもにも勧めます。自分の心に正直に生きられるといいなと思う本心が大切。

○「14歳の君へ」
／池田晶子
・子どもだけでなく大人が読んでも深く考えさせられる内容です。

○「心を整える」／長谷部誠
・日本代表サッカー選手が日々心掛けていること、努力していること、学生にも興味深く、分かりやすく、共感できる部分がたくさん書かれています。

○「1兆ドルコーチ」
／エリック・シュミット他
・GoogleのCEOや故ステイブ・ジョブズなどのコーチをして、シリコンバ

レーに莫大な利益をもたらした伝説の人物を紹介した本。コーチングのポイントの一つが、愛。相手を、丸ごと一人の人間として受け止め、プライベートルドや家族の面倒まで見るというコーチは、厳しけれど心優しいオヤジです。いかにチームに信頼関係を築くかに苦心して、一人一人が安心して自分の最大限の力を出し切れる環境を作っていたことが印象的でした。

○「豊田章男」／片山 修
・トヨタ自動車社長、豊田章男の知られざる内面に迫るビジネスノンフィクション。

○「夢をかかえるソウ」／水野敬也
・成功への道を教えてくれる、人生のためになる本。
・自分が幸せに生きているためにやるべき基本的なことを教える本にしました。

○「私は私のままで生きていることにした」
／キム・スヒョン
・今後の人生を送る上で、の教訓が見つけられる一冊。他人と自分を比べて生きているのは楽しくないと気付かされる一冊。

○「自分を嫌うな」／加藤諦三
・「どうして自分であるべき」と思い込み過ぎるが故に自分を嫌いになってしまう。コンプレックスは、自信のなさにその原因が行き着く。「自分の欠点を受け入れる」といった正反対の行動をとることが自分を好きにする一助になることを気付かせてくれる一冊です。

○「青空のむこう」
／アレックス・シアラー
・生きる今が大切だと考えさせられる作品だと思えます。

○「友だちってなんだろう？」／齋藤 孝
・「複雑に思える「友だち問題」も、一歩離れて見るとじつはシンプルだ」という言葉が心に残り、子供の悩みを減らし、少しでも穏やかな心で過ごせるよう、一頭

の整理力」を付けられるよう、大人の声掛けが大切だと学ぶことのできる本だと思えました。

○「繊細さん」の本」／武田友紀
・繊細な感性をもっているために生きづらさを感じている人が、楽に生きられるコツが書いてあります。

○「マザー・テレサ あふれる愛」／沖守 弘
・この世の中にこんな無償の愛を捧げられる人がいるのかと思いました。マザーの愛の深さに感動しました。

○「リトルルの涙」／木藤亜也
・十五歳の少女を襲った恐ろしい病。当たり前でできていたことができなくなってしまう、彼女の健康をいや悔しさとしてみを考えると、健康でいられることの素晴らしさやありがたさを感じずにはいられない一冊です。

○「フロックスはわたしの目」／福澤美和
・盲導犬がまだ世の中に受け入れられなかった時代の作者の苦勞、フロックスと会話しながら、行動力あふれる遠出、目が見えないとは思えない前向きさに感動した本です。

○「僕の大本山復興記」／小島雅道
・岡崎市津塚町にあるお寺の住職が書いた本。朽ち果てたお寺を復興するお話。とにかくすごい！

○「さおだけ屋はなぜ潰れないのか？」
／山田真哉
・会社の経営が分かりやすく説明されていて、単純な損益ではない部分から利潤を得られることが学べて驚いた。また、会計士という職業の重要性を知ることができます。

○「逢沢りく」／ほしよりこ
・漫画ですが、温かな笑いと涙に包まれる名作です。きょうの猫村さん」でお馴染みのほしよりこさん作。大好きな本です。第十九回手塚治虫文化賞受賞作。

生徒 学校教育診断結果

A : よくあてはまる B : ややあてはまる
C : あまりあてはまらない D : 全くあてはまらない (数字は%)

*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	生徒への質問項目	前年比	■ : A + B	□ : C + D
1	学校へ行くことが楽しい。		85.5	14.5
2	あいさつがしっかりしている。	-3.5	87.4	12.6
3	友だちや周りの人を思いやることができる。		93.7	6.3
4	靴やスリッパの整頓ができる。		92.1	7.9
5	学校行事に進んで参加している。		83.5	16.5
6	葵中の生徒会は活発で、自分も協力している。	+4.8	70.2	29.8
7	授業は分かりやすく、楽しい。	+14.3	82.7	17.3
8	iPad を授業等で有効に使っている。	NEW	82.6	17.4
9	授業の中で、「ちゃんと聴きます」ができています。	+9.4	93.0	7.0
10	授業の中で、「ちゃんと伝える」ができています。		59.4	40.6
11	授業の中で、「ちゃんと始めます」ができています。		86.7	13.3
12	学級の係活動やそうじを真剣にやっている。	+4.2	94.0	6.0
13	ひまわりプロジェクト、伊賀川プロジェクト、被災地支援活動に進んで参加している。	NEW	79.5	20.5
14	道徳の授業は、生き方を考えるよい機会になっている。	-3.8	78.9	21.1
15	読書は楽しい。	+4.0	78.5	21.5
16	部活動に、進んで参加している。※3年生は自分の活動を振り返る		89.9	10.1
17	通知表は、自分の学習やせいかつの様子をよく表している。		91.6	8.4
18	クラスに問題があれば、みんなで協力して解決できるよう取り組んでいる。	+8.5	80.9	19.1
19	学校は、いじめや問題行動にいていねいに対応してくれる。	+10.5	84.4	15.6
20	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる友だちがいる。		92.5	7.5
21	自分が困ったり悩んだりした時、相談できる先生がいる。		75.0	25.0
22	インターネットや携帯電話等は正しく利用している。		97.2	2.8
23	携帯電話等にフィルタリングをかけている。		69.0	31.0
24	毎日、朝食を食べている。		93.3	6.7
25	毎日、歯磨きをしている。		99.0	1.0

6.12. 学校生活 ↗

なにより大切に嬉しいことです。新型コロナウイルスによる制約が多い今年ですが、葵中生が生き生きと学校生活を送り、学習に取り組む環境を、これからも大切にしていきたいです。

9. 学びの姿勢 ↗

共に学ぶという姿勢を大切にしています。話し合うことや教え合うことで、芽生えた考えははっきりしたものになり、頭に根付きます。友達の考えを聞き、理解すること。自分の考えを伝え、意見を求めること。「思考力・判断力・表現力」等を高める授業を目指します。

2.14. 人と人とのつながり ↘

人との関係が希薄になっていることは、心の成長に大きなマイナスです。生活信条「㊦いさつ・㊦もいやり・㊦まが大切」をこれからも大切にしていきたいです。また、多様な考え方を受け入れる姿勢づくりを高めていきます。

18.19. 問題への対応 ↗

友達は人を豊かにします。多感な時期です。仲間との有意義な時間を大切にしていきたいです。また、一人一人の心情に寄り添う学級づくりをこれからも続けます。

保護者 学校教育診断結果

A：よくあてはまる B：ややあてはまる
 C：あまりあてはまらない D：全くあてはまらない (数字は%)

*前年比は、「四捨五入で3%以上」に及ぶものを掲載しています。

No.	項目	前年比	A + B	C + D
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。		91.5	8.5
2	お子さんは、信頼できる友達がいると思いますか。		92.2	7.8
3	お子さんは、学習内容が身につけていると思いますか。		64.0	36.0
4	お子さんは、部活動に進んで参加していると思いますか。		86.7	13.3
5	お子さんには、信頼できる先生がいると思いますか。	+3.3	79.4	20.6
6	お子さんは、学校のことや友達のことを話しますか。		79.6	20.4
7	お子さんは、学校や地域であいさつができていますか。		82.9	17.1
8	教師は、楽しい授業をしていると思いますか。	+5.7	80.1	19.9
9	教師は、お子さんのよいところを認めていると思いますか。		89.4	10.6
10	学校は、いじめや問題行動にたいねいに対応していると思いますか。		80.5	19.5
11	教師にお子さんのことを気軽に相談できますか。		78.9	21.1
12	葵中新聞や学年通信などを読んでいますか。		81.6	18.4
13	学校は、道徳の授業や行事などで、思いやりや命の大切さを育てようとしていると思いますか。		84.8	15.2
14	学校は、社会のルールを守る態度を育てようとしていると思いますか。		90.2	9.8
15	学校は、授業参観や行事など開かれた学校づくりに努めていると思いますか。	-5.7	88.2	11.8
16	学校は、体育の授業や部活動・行事を通して、お子さんの体力を健やかに育もうとしていると思いますか。		91.6	8.4
17	学校は、学校行事を通して、生きる力を育てようとしていると思いますか。	-8.3	83.2	16.8
18	学校は、読書を重視し、豊かな心を育もうとしていると思いますか。		74.5	22.5
19	学校行事は充実し、お子さんは生き生きと活動していると思いますか。	-11.9	81.3	18.7
20	P T A活動が活発で充実していると思いますか。	-18.2	67.7	32.3
21	自然災害や緊急時の対応について、生徒手帳や緊急連絡をもとに家族で確認していますか。	+7.1	56.9	43.1
22	お子さんがインターネット、携帯電話等の利用するにあたって、我が家のルールなどの約束事を守っていますか。	-6.5	68.3	31.7
23	携帯電話等を持たせている場合は、フィルタリングをかけていますか。	+4.0	71.7	28.3
24	お子さんは朝食を食べていますか。		95.6	4.4
25	お子さんは歯磨きをしていますか。	-3.1	93.4	6.6

8. 楽しい授業 ↗

お子さんの話や様子から、授業を楽しく受けていると感じていらっしゃる保護者の方が多いことは喜びです。しかし、この結果に慢心せず、楽しい授業とは何かを追求する必要があります。分かる喜び、できる喜びを得られる授業を目指していきます。

15.17.19.20. 行事・諸活動 ↘

春の臨時休業によるカリキュラムの遅れを取り戻すための7時間授業や、3密を避けるために活動の縮小を余儀なくされたことが大きな要因だと思われます。できることは何か。どうしたらできるのか。さらに工夫をしていきます。

21. 防災・緊急時対応 ↗

生徒会が進めている「ひまわりプロジェクト」は、被災地の支援だけでなく災害について考える機会にもなっています。災害や緊急時の備えと心構えを、ご家庭でも確認してください。

22. ネットや携帯のルール ↘

これからの時代に、インターネットや携帯電話の利用は欠かせません。学校でも指導していきます。ご家庭でも、利用の仕方や利用時間など、親子で話し合う機会をつくっていただければ幸いです。